

今号の主な記事

- ◆新たに203施設で「指定管理者制度」を導入 .....2面
◆「石綿による健康被害の救済給付」窓口を保健所に設置 .....2面
◆敬老事業の見直しについて .....3面

平成18年度

主な事業・施策を紹介

平成18年度も厳しい市の財政状況が続きますが、ピンチをチャンスととらえ、今やらなければならないことは必ずやるという信念をもって、6つの視点で「愛と希望のまちづくり」に全力をあげて取り組みます。以下に、主な事業・施策を紹介します。

市民と手を携えて進めるまちづくり

◆(仮称)市民参画条例の平成19年度中の制定に向けて、策定委員会の立ち上げなどを行う(259万円)
◆男女共同参画施策のより一層の推進を図るため、新女性プランの全面改訂を行う(70万円)



安心して暮らせる心かよつまちづくり

◆平成16年9月に施行された通称「国民保護法」にもつき、18年度中に西宮市国民保護計画および避難マニュアルを策定(402万円)
◆子どもに対する犯罪等に対処するとともに、災害にも適切に備えるため、防犯や防災に関する情報などを携帯電話等に配信する「にしのみや安心eネット」の導入に取り組む(15万円)
◆バリアフリー化の促進のため、阪急電鉄阪神国道駅舎とJR甲子園口駅舎に、各鉄道事業者がエレベーター等を設置する事業費の一部を補助(675.2万円)
◆高齢者や障害のある人に対する対応のため、用海ほか3カ所に留守家庭児童育成センターを整備(680.3万円)
◆児童手当について、平成18年度から給付対象を小学6年生(12歳児)まで拡大し、所得制限を緩和(29億843.5万円)
◆浜町において知的障害者通所授産施設を整備・運用する社会福祉法人に、建設費用の一部の補助等を行う(168.9万円)
◆西宮健康開発センターの老朽化した空調設備の更新費用の一部を負担する(273.0万円)
◆母子家庭の母親の主体的な能力開発を支援する自立支援教育訓練給付金事業および看護師等の資格取得を支援する高等技能訓練促進費事業を実施(77.8万円)

文化をはぐくみ人がふれあつまちづくり

◆「音楽と出会うまち西宮」事業として、まちかどコンサート開催、民間コンサート情報の提供、若者を対象とした音楽事業などや、県立芸術文化センターと連携した事業を実施(29.2万円)
◆平成18年度から始まる「のじぎく兵庫国体」を開催(9月30日~10月10日)(4億867.3万円) 正

市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

いよいよ平成18年度がスタートしました。昨年年制80周年を迎えた西宮市にとって、この18年度は、これまで高い評価を得ているまちづくりをさらにもう

一歩進め、誇るべき我がまち「西宮」の実現に向け、新たな歩みを始めます。今年度は、「安心して心豊かに暮らせるまちづくり」に重点を置き、昨年と同様に6つの視点で事業を展開してまいります。明日の「西宮」につながる重要な施策を積極的に進めていくためには、市の財政基盤を確立する必要があります。このため、現在第3次の

持続可能な安全で快適なまちづくり

◆新環境計画推進のため、市民事業者行政・専門家で構成するパートナーシップ会議で進捗よく管理等を行い、各地域のエココミュニティ会議やエコネットワーク会議と連携し、環境学習都市宣言の具体的な取り組みを行う(74.2万円)
◆甲子園浜生物保護地区の干潟への立入りを時期限定で制限し、渡り鳥にとって貴重な飛来地の環境を守る(18.1万円)
◆市民の防災意識の向上を図るため、洪水や津波による浸水予想箇所や土砂災害危険予想箇所、地質活断層、避難所等の防災情報を一体的に表示した総合的な防災ハザードマップを作成し、全世帯に配布(1067万円)
◆耐用年数の経過やNOx・PM法による法定更新に該当する消防車両等・高度救命処置用資器材・熱画像直視装置等を年次的に更新し、無線基地局や無線機の整備等を行い、災害時の対応を充実・強化する(2億734.9万円)
◆市営住宅の耐震診断を引き続き実施し、既設住宅の外壁改修や住環境の改善に取り組む(870.0万円)
◆消防法の改正により既存住宅にも設置が義務付けられた住宅用防災警報器を既設市営住宅に設置(866.4万円)
◆阪急電鉄西宮北口駅周辺の土地整理事業について、建物等の移転交渉・区画道路等の整備・街路築造等を進める(2億63.2万円)
◆阪急電鉄西宮北口駅・甲東園駅、JR甲子園口駅、阪神電鉄武庫川駅の4駅周辺およびJR新駅周辺に自転車駐車場を新・増設を行う(51.7万円)
◆市内の産学官民の連携や異業種企業間の交流を図り、新製品や新規事業の創出等に努める(380万円)
◆市内進出を検討している企業等に不動産情報を提供するとともに、オフィス

産業が栄え地域がにぎわつまちづくり

◆産業・観光情報等を発信し、市民も参画できる双方の「西宮地域ポータルサイト」を開発し、産業の活性化を図る(74.0万円)



社会的な変容や、低成長時代に対応していくためには、行政運営の仕組みそのものを改革する必要があります。そこで、引き続き西宮市行政経営改革基本計画のもと、行政経営型マネジメントの確立と、参画と協働によるまちづくりの推進に取り組んでまいります。
◆JR西ノ宮駅南側に公衆便所を設置(135.0万円)
◆上水道事業について、浄水施設の統廃合や耐震化の検討、老朽化した配水管の更新、耐震型配水管の布設を行う(10億891.9万円)(水道事業会計で実施)
◆下水道について、鷺林寺・名塩美山地区の面整備を推進するほか、ポンプ場・処理場の施設等を更新するとともに、高度処理用地を取得する。また、雨水渠(きよ)の整備や流出抑制対策を推進し、浸水対策の強化や合流式下水道の改善に取り組む(37億678.2万円)
◆ソーラーシステム仕様の街路アプローチ灯を設置して、修景づくりに努める(100.0万円)

6つ目の視点は次ページで紹介